



落穂会だより

新春号 2015.1

社会福祉法人 落穂会
鹿児島市皆与志町2503番地
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>

障害児入所施設 あさひが丘学園 (Tel 238-4821)
障害者支援施設 あさひが丘 (Tel 238-4821)
地域生活支援センター あさひが丘 (Tel 243-1112)
障害者支援施設 旭福祉センター (Tel 244-3551)
障害福祉サービス事業 第二旭福祉センター (Tel 244-3551)
<http://www2.synapse.ne.jp/asahi-center/>



第1回あさひが丘秋祭り

「秋祭り」

日中活動副主任 隈元勇治

十一月二十二日(土)、記念すべき「第1回 あさひが丘秋祭り」が開催されました。今期の行事は何かと雨に見舞われる事が多く、当日の週間予報もあいにくの雨。しかし、蓋を開けてみれば、どうなる事かと氣を揉んでいたのが嘘のように、秋晴れに恵まれました。

栄えあるオープニングを飾って頂いたのは、神村学園高等部吹奏楽部の皆様によるマーチングバンド。ご来場いただいた方々も感じて頂けたと思いますが、私達の想像を遙かに超える素晴らしいものでした。まさに、規律正しいとは彼女達の為にあるような言葉で、演奏とパフォーマンスが一体となり、ここがあさひが丘学園の園庭である事を忘れさせてくれました。その他にも、地元春山地区婦人部・長寿会の皆様による踊りあり、学園児童部のダンスあり、東郷さくらさんのライブありと、バランスのとれたステージに仕上がったのではと自賛するところです。お昼を挟んで盛り上がりを見せたのは、お楽しみ抽選会でした。当選番号を発表するたびに垣間見えた人間模様。見事当選された方もそうでなかった方も、次回への期待を膨らませていただければ幸いです。その後は、みかん狩りや学園職員有志によるバンド演奏、カラオケ大会などそれぞれのコースで楽しんで頂きました。

最後に、この企画は私達が出来る地域貢献活動と考えた時、地域社会の中で、まずは「あさひが丘」の存在を知って頂き、障害理解に繋がればという思いから始めたものです。今回、皆様のご協力とご理解のもと、始めの一歩を踏み出す事が出来ました。来年度以降も、今回頂いた様々なご意見を参考に、より楽しい時間を皆様と共有していきたいと思っております。初回にも関わらず、多数の皆様にご来場いただき、本当にありがとうございました。

成人おめでと 大空にはばたけ

◆あさひが丘学園
森高 里美さん
美味しいご飯と元気な仲間と一緒に楽しく過ごしたいです。

◆あさひが丘 通所部
福留 基記さん
健康で元気に二十歳を迎えられたこと、周りの皆さんへ感謝です。

緒方 章さん
作業などを一生懸命頑張りたいです。

精松 未華さん
二十才になり、妹のめんどうや仕事をがんばりたいです。

◆グループホームあさひが丘
内屋 智美さん
やりたい事がたくさんあるので、これからも仕事を頑張ります。

◆旭福祉センター
高松 恵太さん
これからも楽しく、一生懸命仕事を頑張りたいです。

◆あさひが丘
高原 英彦 支援員
職場になくはならぬ人材を目指し、これから頑張ります。

◆地域生活支援センター
上ノ下 恵 保育士
子どもたちの笑顔を見たいです。

牧瀬 梨絵 保育士
子ども達と信頼関係を築き、毎日楽しく過ごしたいです。

地頭 甲子朗 支援員
皆さんの笑顔を見ることのできる支援を目指し頑張りたいです。

◆旭福祉センター
宮園 誠一 支援員
福祉の仕事は初めてですが、何事にもチャレンジ精神を持って前向きに笑顔で頑張りたいと思います。

原口 春美 支援員
無我夢中のうちに四ヶ月が過ぎました。よろしくご指導ご鞭撻のほどお願いします。

新任職員紹介

初の海外旅行inハワイ

「今年の旅行はどこに行きたいの?」「ハワイ!」月一回、ホームの夕食に園長を招いての雑談の中でこの話が決定的になってしまった。利用者八名・職員二名の引率で、初めての海外旅行である。パスポートを作ったり、水着(ビキニ)を買ったり大きなキャリーバックを揃えたり、皆の心はずっかりハワイ一色となった。しかし今年には台風が多く、出発予定の十月十三日は直撃の進路となっていたため出発を一日早めて空港入りした。いつ飛ぶのかわからない飛行機をロビーで何時間もまたなければならず、普通に行ける時間の倍の時間を過ごす事になり、うきうき気分も半減してしまっただけでもあった。ようやく着いたハワイは常夏と聞いていたが、カラットとしていて嫌味の無い暑さであった。ハワイ滞在の三日間、連日海水浴や買い物、人気のお店に並んだり、潜水艦での海中散歩、クルージングディナーと日常では味わうことのできない、解放感を味わえた様子であった。今回障害を持つ方がたの旅行プランは初めてだからと旅行会社の担当者にもいろいろ配慮してもらったが、それ以外にも、現地の出かけた先々で、覚えての「アロハ」や「ハルロ」を使う利用者にハイタッチやちよつとした気配りをしてくださる場面がたくさんあり、こんなところでも、いろいろな人に支えられているのを感じることが出来た。特に毎日通ったスーパーの店員さんには、ドルの使い方、お土産の選び方までアドバイスしていただき、そのかたのお孫さんが同じような障害をお持ちである事まで話されたが、利用者さんの笑顔が素敵で皆が生き生きしているようすが伝わってきて、おせっかいは焼かすにはいられなくなつたと話されていた。日本だけではなく、世界中にも障害について悩んだり、励ましかったり出来ることを身近に感じることのできた旅でもあったように思う。

現地でおいしいものを食べ、親しい人にお土産を選び、そして今回は自分にも高価な寝美を買って、日常を離れての一週間は、心もカバンも満たされたものになつたよつである。

(グループホーム 小中原多智子)





◆ 行事報告 ◆

- 9月4日(木) 日帰り旅行
あさひが丘では、利用者23名、保護者1名、職員18名の計42名で指宿方面へ日帰り旅行に出掛けました。指宿「心の湯」にて昼食、入浴を楽しみました。
- 9月9日(火)～12日(金) トリア個別相談
トリアにて、今年度1回目の個別相談がありました。15件実施、日ごろの活動の様子や、家庭での様子など情報交換・意見交換の場となりました。
- 9月12日(金)～13日(土) 宿泊旅行!
あさひが丘では、利用者23名、保護者2名、職員15名の計40名で1泊2日の長崎旅行に出掛けました。中華街の散策、食べ歩きやお土産購入、宿泊先では、世界三大夜景に認定されている長崎の町を眺める事が出来ました。

- 10月5日(日) あさひが丘 学園運動会
台風接近のため中止となりました。
- 10月11日(土) 合同運動会(歩路・セルク・トリア)
児童発達支援事業(歩路、セルク、トリア)による合同運動会が、鹿児島県立青少年研修センターで開催されました。天候にも恵まれ、45家族、全体では153名の方が参加しました。かけっこをはじめ、体操・サーキット等、涙あり、笑いあいの運動会となりました。
- 10月13日(月) グループホームハワイ旅行
グループホームあさひが丘の利用者6名、職員2名で初めてのハワイ旅行に出掛けました。台風の接近で出発が心配されましたが、予定通り実施することができました。

- 10月14日(火) 小グループ旅行
あさひが丘より、利用者4名、職員3名の小グループで2泊3日の旅行に出掛けました。新幹線での移動、福岡観光などはレンタカーを借りて行いました。美味しい食事や観光などを楽しみました。
- 10月16日(木) マルヤ親子レクリエーション
ガーデンキップの園児6名と保護者の方々とで、天文館公園の芝生で親子レクリエーションを開催しました。当日は天候にも恵まれ、トンボが舞う中、子ども達の元気な声と保護者の方々の嬉しそうなお笑い声が響いていました。

- 10月19日(日) 第27回出水ワタルマラソン大会
旭福祉センターでは、利用者6名、職員8名で出水のワタルマラソン大会に参加しました。10kmコースに出場し、終盤では足が思うように動かさず苦戦しているようでしたが、全員が完走を遂げました。ゴールでは、利用者も職員も走りきった達成感に感動し、また、とても喜んでいました。
- 10月25日(土)～26日(日) グループホーム旅行
旭福祉センターでは、グループホーム利用者6名、職員2名で指宿方面へ1泊2日の旅行に出掛けました。パワースポットにもなっている釜蓋神社では、釜蓋を頭に乘せながら落とさないようにお参りをしている姿がありました。また、フラワーパークや長崎鼻パークガーデンでは、たくさんのお花や自然に触れることができ、みなさんとても楽しそうに過ごしていました。

- 10月26日(日) 保護者ボランティア
あさひが丘で、2回目の保護者ボランティアがありました。27家族32名、職員19名が参加しました。みかん園の刈込作業の作業や学園内のあじさい、球根定植作業、バザー小物作りを行いました。
- 10月30日(木)～31日(金) 宿泊旅行
あさひが丘では、利用者27名、職員15名で福岡方面へ旅行に出掛けました。スペースワールドでの絶叫マシンの楽しんだり、太宰府天満宮の散策を行いました。宿泊先の宿では、温泉や宴会、食事、カラオケを楽しみました。
- 10月30日(木)～11月4日(火) 全国障害者スポーツ大会
グループホームあさひが丘から川畑英行さんがフライングディスク(アキュラシー・ディスタンス)の選手として出場しました。成績はアキュラシーで金メダル・ディスタンスで銅メダルと優秀な成績を残すことができました。

- 11月2日(日) 春山地区運動会
岡之原地区にある5棟のグループホームあさひが丘の利用者28名が春山地区運動会に参加しました。短距離走や二人三脚などの競技に参加し、楽しい時間を過ごすことができました。また地域の方と交流を図る良い機会となりました。
- 11月9日(日) 鹿児島市わくわく福祉交流フェア
旭福祉センターでは、中央公園で開催された、わくわく福祉交流フェアにて菓子・みかんの販売を行いました。当日は曇り空でしたが、旭センターのブースも賑わい、おすすめの食パンやみかんがとても人気でした。あさひが丘からは、あいにくの天気となり一部の利用者の参加となりました。参加された方は舞台の出し物を見たり、好きな物を購入したりと、楽しまれた様子でした。販売も創作品などが人気でした。

- 11月22日(土) あさひが丘学園秋祭り
あさひが丘学園で、秋祭りを行いました。詳細については、表紙面をご覧ください。
- 11月27日(木) 児童発達支援「歩路」公開療育
児童発達支援「歩路」の公開療育を実施、行政関係や幼稚園、保育所から17名の方々の参加がありました。各クラスの療育体験や療育内容、事業所の説明を行い、グループ懇談等を行いました。参加者からは、保育園でも視覚支援や環境設定などを参考にしたいとの意見を多く頂きました。
- 11月29日(日) YPOコンサート
今年も吉田ポップスオーケストラのコンサートに招待いただき、あさひが丘から利用者13名、グループホームあさひが丘利用者32名で参加、鑑賞してきました。妖怪ウォッチやアナと雪の女王のテーマソングが演奏され、楽しい時間を過ごすことができました。招待して下さったYPOの皆さんありがとうございました。

- 12月4日(木) 歩路・セルク・トリア合同保護者会
地域生活支援センターあさひが丘にて、児童発達支援(歩路・セルク・トリア)の保護者会を実施しました。36名の保護者が参加されました。
- 12月6日(土)～7日(日) 地域生活者(グループホーム) 秋季研修会及び交流会
グループホームあさひが丘「ももか」の入居者3名が、霧島市のホテル京セラで行われた研修会及び交流会に参加しました。交流会では食事やカラオケなどを楽しみ、他のグループホーム入居者と楽しい時間を過ごすことが出来ました。

- 12月7日(日) ふれあいバザー
旭福祉センターにて、第46回ふれあいバザーが開催されました。花苗や陶芸、パンや菓子などの販売を行いました。当日は天気もよく、多くのお客様にご来店いただき、また、たくさんボランティアの方に参加していただきました。ありがとうございました。
- 12月12日(金) テーマ別研修「福祉で描くコミュニティ・デザイン」
あさひが丘学園では、「福祉で描くコミュニティ・デザイン」というテーマで、社会福祉法人佛子園理事長 雄谷良成氏に講演してもらいました。75名の職員が参加、「福祉で描くコミュニティ・デザイン」について障害種別の縦割りの支援ではなく地域福祉論的視点での今後の福祉のあり方について解り易くご講話いただき、その事業内容についても具体的に説明していただきました。職員全員が、目指すべき方向性を共有できたように思います。

- 12月22日(月) 利用者合同忘年会
旭福祉センターでは、城山観光ホテルのホールにて利用者合同忘年会を行いました。利用者56名、職員32名が参加し、食事を囲みながら今年1年を振り返ったり、カラオケをして楽しみました。
- 12月25日(木) 学園忘年会
あさひが丘学園、地域生活支援センターの学園忘年会がジェイドガーデンパレスで行われました。利用者129名、保護者175名が参加、食事やカラオケを楽しみました。

障害児支援の在り方に関する検討会について

あさひが丘学園統括施設長 水流純大

前号に引き続き、「障害児支援の在り方に関する検討会」報告書(以下、報告書という)の内容について概観するが、今号では「報酬上の配慮や評価」について言及されている箇所を中心に述べることにする。

報告書の中で「報酬上の配慮や評価」について触れている箇所は全部で六カ所ある。

① 保育所等訪問支援

「保育所等訪問支援の体制整備が進んでいない理由としては、(中略)報酬上の評価も含めて、利用をさらに進めるための具体的な方策についても検討すべきである。」

② 障害児相談支援

「障害児相談支援に関する報酬においても、それらの業務負担を踏まえた評価を行うべきである。」

③ 強度行動障害支援者養成研修

「・・・強度行動障害支援者養成研修が開始されたため、施設、事業所の職員が研修を受講し適切な支援ができる体制の整備を報酬上評価するなど、研修の受講を進めるための具

体的な方策を検討すべきである。」

④ 家族のカウンセリング

「児童発達支援において家族のカウンセリングを行うことについて報酬上評価すべきという意見があった。」

⑤ 短期入所

「単独型も含めた短期入所について積極的に推進していくべきである。・・・厚生労働省においても、報酬上の評価等、制度的な推進を図ることも併せて検討すべきである。」

⑥ 重症心身障害児の通所支援

「重症心身障害児に対して療育を行っている通所支援における受入時間の延長を報酬上評価すること等も考えられる。」

以上が、報告書の中で報酬上の配慮や評価に触れられている箇所である。平成二十七年度は障害福祉サービスの報酬改定が行われることになっており、現在、厚生労働省の報酬改定検討チームで検討が行われている。障害児支援に関する報酬改定も同時に行われることになっており、報告書の中で「報酬上の配慮や評価」に

言及されている箇所が報酬改定に一定の影響を与えることが十分考えられる。

現段階で、障害児支援の報酬改定の俎上に乗っている点は以下のとおりである。

① 支援の質の確保のための職員配置の評価(通所サービス)

「児童指導員」等の有資格者を配置し、又は加配(配置基準以上の指導員を配置すること)をした場合の評価を行う。

② 家族に対する相談援助等の評価(通所サービス)

障害児の居宅を訪問し、障害児及びその家族等に対する相談援助等を行った場合に算定される家庭連携加算について、児童発達支援を利用した同一日にも算定可能とする。

③ 重症心身障害児に対する支援の充実(通所サービス)

重症心身障害児を受け入れる事業所に係る定員六人以上十人以下の報酬単価を見直し、小規模事業所において追加的な利用者受入のインセン

ティブを高める。また、重症心身障害児を手厚い人員配置で受け入れ、営業時間を延長して支援を行った場合に算定される延長支援加算について、単価の引き上げを行う。

④ 一定の目的を持った短期的な入所(有期・有目的入所)の評価

短期間のサイクルで、入所・退所調整に時間、労力を要する「有期・有目的入所」の対応を行った場合に評価を行う。

この他にも、①処遇改善加算におけるより手厚い区分の創設、②障害児相談支援における初期加算の創設、③保育所・学校と連携して個別支援計画を作成した場合の加算の創設、④保育所等訪問支援を専門職が行った場合の加算の創設、⑤開所時間に応じた報酬単価の設定、⑥食事提供体制加算の減算、⑦強度行動障害支援者養成研修を受講した職員を配置した場合の加算等が検討されているが、まだ確定したものではない。

報酬改定全体については、国の財政状況や経営実態調査における収支差率の状況等からマイナス改定になるのではとの観測がある。年末の衆議院選挙の影響で予算編成作業が遅れが出ていることから具体的な報酬単価が発表されるのは今年二月ごろになるのではないかと予想される。

「長崎がんばらば 大会について」



地域生活支援センター 利用者 川畑 英 行

全国障害者スポーツ大会に行くの二回目だったからきんちようしなかった。とくに鹿屋養護学校、永田強くんがたくさんはなしかけてくれたからじぶんのちからをだせた。全国障害者スポーツ大会でいっぱい、はなしかけてくれたのは、はじめてだったからうれしかった。金メダルとれたのはたくさんおうえんしてくれるひとがいたから、あたらしい競技場でできたことがよかった。たくさんの小学生とか、見れてうれしかった。あんなにたくさんの小学生とかのダンスを見ることなかったからうれしかった。開会式にあめがつよくなかったからうれしかった。開会式おわってたくさんの小学生にみおっつてもらつてうれしかった。長崎のたべものがよかった。夕食海のたべものじゃなくてよかった。



「楽しみな外出」



旭福祉センター 保護者 久木田 真理子

「次はいつ外出できるの？」
外出時の帰り際にいつも聞いてくる克也です。入所以来毎月の行事に なっている外出をとでも楽しみにしてくれている様子で嬉しいです。
高校一年の夏から、あさひが丘学園でお世話になり、武岡台養護の先生方や学園の先生方・お友達に囲まれて、週一だった登校も毎日行けるようになり、日々少しずつではありますが落ち着きを取りもどしていく克也の姿を見ることが本当に嬉しかったです。

無表情で感情を表に出すことの苦手な克也ですが、心の中では色々な事を考えていて難しい質問をしてくることがよくあります。私はほとんど答えられずに宿題として帰ります。また、以前は外出時に一人でふらつといなくなる事もあり心配しましたが、近ごろは「待っていてね」と言えば一人で待つ事もできるようになり、もう一人でどこかへ行ってしまふのでは…という心配はいらなくなりました。これからお泊りで家に帰れるように進めていければと考えています。少しずつ一緒に進めていきましょう。
外出時には食事の後、よくお買物に行き、文房具を買回家に戻ります。それから書きものをし、ゆつくりしてお風呂に入っていたらあつという

「年女」



旭福祉センター 職員 松山 朋 未

新年明けましておめでとうござい
ます。
落穂会だよりに執筆の場を頂き、何を書こうかと頭を悩ませています
が、新年を迎えた今、せつかくです
ので昨年の振り返りと新年の抱負で
も書き連ねたいと思います。
平成二十七年、未年。私がこの世
に生を受けたのが平成三年なので、
今年が「年女」ということになりま
す。常識知らずで、お恥ずかしい限
りですが、この「年女」が悪い年な
い。

さんぽみち

のか、いい年なのか曖昧な部分があります。しかし、この一年、悪い年になってしまふのか、はたまた、いい年になるのかは私自身の手にかかっているのです。
昨年を振り返ってみると、公私ともに様々な出来事や試練があったように思います。公(仕事)では、旭福祉センターに入社し三年目の年。といつてもまだまだ未熟で、毎日が怒涛のように過ぎてゆき、どの業務も不完全燃焼で終わってしまい、後味の悪いものでした。一方、私(プライベート)では、趣味である音楽に打ち込むことができ、社会人になつてから所属している吹奏楽団で、コンクールの全国大会に出場でき、現在もこうやって好きなことができるという幸せと、全国大会に出場できたという喜びを感じることができました。
こうやって振り返ってみると、昨年は全体的にいい年だったのではな
いかと思います。ですが、今年は今
年で何が起るかは、その時にしか
分かりません。なので、今年は何
事にも明るく前向きに「を抱負に頑
張っていきたいと思ひます。みなさ
んも新年を迎えた今ちよつとした抱
負を掲げてみてはいかがでしょう。
最後に余談になりますが、冒頭に
記したように私は未年です。私の名
前の「朋未」の「未」の字は、この
未年から由来しているものです。こ
の一年は特に自身の名前に誇りを持
ち過ごしてゆきたいと思ひます。

今回はグループホームあさひが丘の「グループホームももか」にスポーツです。ももかの皆さんの普段の生活の様子を伺ってみたいと思ひます。(休日の朝におじゃましました。)
○おはようございます。
○今日はももかでの生活の様子を聞きにきました。



太田さん 内屋さん 古田さん

○「パズルをしたり、DVDを見た
りしてよ。」
○「DVD見たり、音楽を聴いてる。」
○「音楽を聴いたり、テレビを見て
る。あつは、映画を見に行つたり、マッ
クにも行つたりしてよ。」
○あさひが丘にいた時とどんなこと
ろがちがいますか？

○「おみそ汁を作る手伝いをするよ
うになつて、少しずつできるよになつ
た。」
○「私までできるようになった。自分
のお皿を洗つて直すよになつたよ。」
○ホームに来て出来るようになった
ことや、変わったことを教えてくだ
さい。
○「前は、苦手な人と話をするこ
とができなかったけど今は由美ちゃん
とも話ができるよになつたよ。」
○「前は時々、けんかとかしてたけ
ど、ホームに来てからはしなくなつ
たよ。」
○「ともちゃんは、学園にいたとき
より、言葉がやさしくなつたよね。」
○「(照れながら)え、わかんない
(笑)。」
○「優しくなつたと思ひよ。」

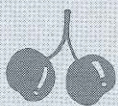
妖怪体操とかアナ雪の曲が流れたか
ら楽しかった。」
○「広子ちゃんと板野智美の握手会
に行つたのも楽しかった。」
○「楽しかったね。」
○では、最後に来年の抱負を教えて
ください。
○「あすもね(※)で仕事を頑張つ
て就職したい。」
○「私はあすもねのままがいい。」
○「仕事を頑張りたい。」

グループホームで生活を初めてどれ
くらいになりますか？
○「二年半くらいかな。」
○「私も同じ時にグループホームに
来たから二年半かな。」
○私は平成二十五年九月にももか
に来たよ。」

○「職員と話をするのが多くなつ
た。前はたたくさん人がいたから、ゆつ
くり話しをする事が少なかったから
今はいいなつて思ひ。あつは、あつ
たかいご飯が食べられるのはいいい
ね。」
○「ご飯を作る手伝いをするよにな
つたよ。」
○「私はしないよ(笑)。ゆつくり
してよ。」

○今年一年で思ひに残つたことは
ありますか？
○「東京旅行が楽しかった。ジエッ
トコースターに乗れなかったけど、
乗れるよになつた。一回も乗つちゃつ
た。」
○「旅行も楽しかったし、みんなで行
つたカラオケも楽しかった。」「二
用のある交流会も楽しんだよ。」
○「Y.P.O.」ンサーが楽しかった。

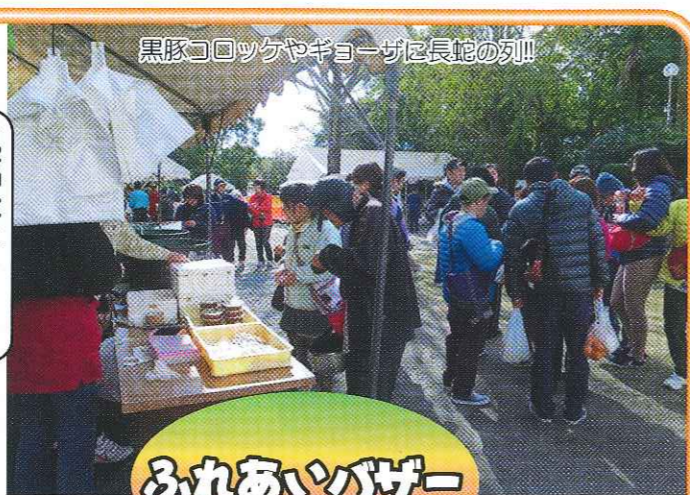
○年齢も近く、お話が好きな方が集
まつたホームということもあり、イ
ンタビュー中は笑いが絶えない時間
となりました。
○「あすもね(※)は、地域生活支援
センターの就労継続支援B型事業所





人気の花苗コーナーにはたくさんのお客様で賑わいました!

旭福祉センター

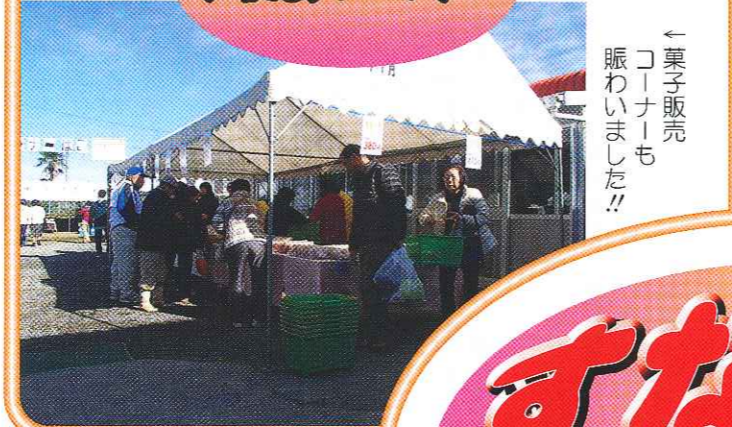


黒豚コロッケやギョーザに長蛇の列!!

ふれあいバザー



みんなでカンパ-----イ!!!



←菓子販売コーナーも賑わいました!!

すなつぶスナック



テーマ別研修

←福祉で描くレミニコニティデザイン
佛子園 雄合 良成氏

あさひが丘学園



高木バンド
クリスマスコンサート

いつも楽しい演奏をありがとう!



→力を合わせて
二人三脚

春山地区運動会



忘年会

平成26年 あさひが丘学園 忘年会

←みんなで盛り上がりました



AOBやSOAPなどのカラオケで盛り上がりました♪

忘年会

旭福祉センター

一年お疲れ様でした!仲良くチーズ♪



→東郷さくらさんのライブ

あさひが丘秋まつり

あさひが丘学園

←長寿会・春山地区婦人部踊り



←お父様方による球根定植作業

保護者職員
ボランティア活動

あさひが丘学園

→お母様方によるバザー小物作り



←福岡旅行くスペースワールド

宿泊旅行

あさひが丘学園

→長崎旅行くハウステンボス